

米の需給状況について

令和7年11月10日
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

本県を含め、全国的に主食用米の作付けは増加しました。
今後とも、主食用米の需給バランスを保ちながら、麦、大豆等の畑作物や収益性の高い園芸作物への作付転換など、需要に応じた生産を引き続き実践することが必要です。

1 国の需給見通し

国は、令和7年10月31日に開催した「食料・農業・農村政策審議会食糧部会」において、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」を変更し、令和8年7月から令和9年6月までの1年間の需給見通し等を示しました。

①令和8/9年主食用米等需要量 694～711万玄米トン

人口減少や直近の1人当たり精米ベースの消費量の実績、インバウンド需要の動向、精米歩留まりを考慮して、幅を持って設定。

②令和8年産主食用米等生産量 711万玄米トン

生産量は、需要見通しに対して余裕をもって設定することとし、①で設定した需要量見通しの上位値に設定。

③令和9年6月末民間在庫量 215～245万玄米トン

上記の見通し設定に伴い設定。

表 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン (玄米))	精米ベース (万トン (精米))
令和7年6月末民間在庫量	A	155	138
令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	748	662～670
うち生産者ふりい目幅以上	C	715	－
うち生産者ふりい目幅未満のうち、 主食用米への供給見込量	D	32	－
令和7/8年政府備蓄米供給量	E	23	21
令和7/8主食用米等供給量計	F=A+B+E	926	822～829
令和7/8主食用米等需要量	G	697～711	624～631
令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	215～229	191～205

表 令和8/9年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン (玄米))	精米ベース (万トン (精米))
令和8年6月末民間在庫量	H	215～229	191～205
令和8年産主食用米等生産量	I	711	630～637
令和8/9主食用米等供給量計	J=H+I	926～939	821～841
令和8/9主食用米等需要量	K	694～711	622～630
令和9年6月末民間在庫量	L=J-K	215～245	191～220

2 水田における作付状況

国は、令和 7 年 10 月 10 日に 9 月 15 日時点の令和 7 年産の水田における作付状況を公表しました。これによると全国の主食用米の作付面積は、前年実績を 10.8 万 ha 上回る 136.7 万 ha となりました。

本県においては、前年より 10.5 千 ha 増加の 67.0 千 ha となり、生産の目安 (56.5 千 ha) を大きく上回りました。

飼料用米や備蓄米が大きく減少し、主食用米の増加につながりました。

表 主食用米の作付状況（令和 7 年 9 月 15 日時点）単位：千 ha

都道府県 名	6 年産 実績①	7 年産 作付状況 ②	7 年産	
			前年差 (②-①)	前年比% (②/①)
全国	1,259.0	1,367.0	108.0	109
福島	56.5	67.0	10.5	119

表 戦略作物等の動向（令和 7 年 9 月 15 日時点）単位：千 ha

		戦略作物							備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	
			新市場 開拓用米	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲			
全国	本年	44.2	9.0	3.5	46.0	48.9	94.8	74.9	0.0
	前年	50.2	11.2	6.3	98.7	56.5	103.1	84.4	30.0
	前年差	▲ 6.0	▲ 2.2	▲ 2.8	▲ 52.7	▲ 7.6	▲ 8.3	▲ 9.5	▲ 30.0
福島	本年	1.0	0.1	0.0	1.4	0.9	0.4	0.8	0.0
	前年	0.4	0.2	0.0	7.0	1.1	0.4	0.9	5.6
	前年差	0.6	▲ 0.1	0.0	▲ 5.6	▲ 0.2	0.0	▲ 0.1	▲ 5.6

3 令和 7 年産水稻の予想収穫量

国は、令和 7 年 10 月 10 日に令和 7 年産主食用米の予想収穫量（9 月 25 日現在）を公表しました。全国における主食用米の収穫量は前年産より 68 万 5 千トン多い、747 万 7 千トン（ふるい目幅 1.70mm ベース）と見込まれています。

また、本県の予想収穫量は前年産より 6 万 3100 トン多い、38 万 4600 トン（ふるい目幅 1.70mm ベース）と見込まれています。